

# ナローマウントキット取り付け説明書

※取り付け作業に入る前に…

★安全に取り付け、ご使用になるために取り付け部分の各ボルト・ナットへ「ネジ止め剤」を塗布し、本締め後は各ボルト・ナットにマーキングをして、締め忘れないよう徹底してください。

## ① 取り付け作業に向けての準備

- 車体からナックルを取り外し、アッパーーム、ロアームの加工をします。  
そのために事前の準備をおこないます。

- ① 平らな場所でタイヤを取り外す。（ジャッキをかける場所は、土や砂利でない安全な場所で）
- ② フロント側の左右のタイヤを外したら車体の下に入れ、ジャッキスタンド（ウマ）などをフレームにかけて安全を確保してください。
- ③ ロアームの下にジャッキスタンドなどをかけて、ロアームが下がらないようにしておきます。  
ロアームからスピンドルを外した時に、トーションバーの力でロアームが下方向に弾き危険です。

※ナローマウントを装着する際は、事前にスタビライザーを取り外しておく必要があります。  
また、ナローマウント装着後もスタビライザーは装着しません。スタビライザーの取り外し作業には、ガレージリフトなどで車体を持ち上げ、トーションバーを緩めるなど、車体下に広いスペースが必要です。



## ② アッパーームの加工

- アームとフレームの接触箇所をなくします。

- ① アッパーームをフレームから取り外します。
- ② アームとフレームそれぞれのピンクのテープが貼ってある部分をカットし、アームとフレームが接触しないようにします。  
(※画像参照)





※すでにLSキャリパーなどのビッグキャリパーを取り付けられている場合は、ステアリングを最大に切った際にアッパーームとのミミの一部分が接触する場合があります。接触する場合は、ディスクグラインダーでミミをカットします。（※画像参照）ステアリングの最大の切れ角の目安は1回転半です。

### ③ アッパーームの取り付け

●アッパーームにカラーを挟んで取り付け、アーム全体を車体中央に寄せます。

- ① カラーを取り付ける際に、取り付けボルト2本を緩めますが、すでに挟んである純正のU字型のシムがそれぞれの箇所にどんな厚みのものが何枚挟んであったか、しっかりチェックしておきます。必要に応じて純正のシムと付属のカラーと一緒に挟み、キット付属のボルト（M12×75mm+スプリングワッシャー）で固定します。



※アームとフレームの間に付属のカラーを入れることによって、アームの内側がフレーム側の溶接痕と接触しやすくなっていますが、アームがスムーズに上下するよう接触箇所をなくして下さい。  
切削作業の際はアーム側とフレーム側双方を削るようにし、フレーム側の溶接痕をできる限り残すようにして下さい。強度確保のためにも削りすぎには注意しましょう！！

#### ④ ロアーアームの加工

●ステアリングを切った際にブレーキディスクとロアーアームが接触するのを防ぎます。

① ロアーアームの先端の両端をカットします。

ナローマウントの先端の形に合わせてカットします。 (※画像参照)



#### ⑤ ナローマウント・テンションロッド移設ブラケットの取り付け

① ナローマウントをロアーアームの上に取り付け、ロアーアームの裏側（下側）からキット付属の強化ボルトで取り付けます。

その際、テンションロッド移設ブラケットもキャップスクリューボルトで共締めします。

取り付け穴の位置関係を示した画像も添付していますので間違えないよう取り付けてください。

(6角M12×30mm・・・2本、キャップスクリューボルトM12×50mm・・・1本)



② テンションロッドは、移設に伴い長さが余るのでフレームへ固定しているナットとインナーカラーを厚みが薄い（短い）ものに交換し、取り付けます。  
 純正のテンションロッド用ボルトを再利用し、キット付属のフランジナットで締め付けます。  
 （この時点では仮止め程度）  
 （M12フランジナット×30mm・・・2個）

③ テンションロッドのフレーム側（前寄り側）の取り付けですが、一度すべてのナットを取り外し、以下の順番で取り付けます。（この時点では仮止め程度）

①キット付属の薄いナット（M18×8mm厚）を“ネジ山のある一番奥”までねじ込む。  
 ②純正のゴムブッシュを支える皿→ゴムブッシュ→キット付属のカラー→ゴムブッシュ→  
 ブッシュを支える皿→純正ナット→純正ナットの順番に取り付ける。

※付属のカラーは片側だけ滑り止めのギザギザが付いています。ギザギザ側を後ろ寄りに取り付けます。

※純正ナット（M18×16mmのナットはダブルナットにしてください。）

④ 全体の仮付けが出来たら、本締めです。テンションロッドは、ロアーアーム側のボルトから本締めしますが、テンションロッドを後ろ方向にしっかりと寄せた状態で本締めしていきます。

⑤ テンションロッドの前寄り側（フレーム側）を本締めします。



## ⑥ ロアアームボールジョイントの取り付け

① ナローマウントに純正のボールジョイントを取り付けますが、ボールジョイントの裏側のエンボス状の刻印を削り、フラットにします。（この作業を忘れて取り付けますとボルトをしっかり締め付けできなくなりとても危険です。）

作業後は、ナローマウント上面とボールジョイント下面の間にスキマがなくなったことを確認して、付属のボルト（M12×30mm×2本+キャップスクリューボルトM12×30mm×1本）を取り付けて下さい。

（※画像参照）

② 6角フランジボルト（M12×30mm）2本とキャップスクリューボルト（M12×30mm）で取り付けます。

（※画像参照）



## ⑦ ショックアブソーバーの移設・取り付け

① ロアアームのショックマウント部分にナットが点付け溶接されている場合は、そのナットを取り外す必要があります。

いらなくなった長めのM8×1.25Pのボルトを5mm程度ネジ山にかけ、ハンマーなどでボルトの頭の部分を横方向に叩いてやるとすぐに溶接は剥がれます。

剥がした後は、残った溶接痕の段差を棒ヤスリなどで平らに馴らしておきます。（※画像参照）



② 純正ロアーアームのショックアブソーバーの位置を10mm内側に移設します。  
理由は、ナローマウントによってボールジョイントがフレーム側（内側）へ寄ったため車高を落とした際にショック本体と接触してしまうためです。  
必ず移設してください。

③ 移設に伴い、ロアーアームにショックマウントを固定するための8.5mmのボルト穴を新設します。  
電動ドリル等で穴を開けます。 （※画像参照）



④ フレームに付いているバンプラバーマウントの先端を約15mm程度カットします。 （※画像参照）



## ⑧ スピンドルの取り付け

① 取り外した時の逆の順番で取り付けてください。  
ナットの締め忘れないよう、しっかりと確認をしてください。

★ボルト・ナットの緩みがないかなど、定期的なメンテナンスをおこなってください。  
メンテナンスを怠ると故障や重大な事故につながる恐れがあります。